

少数精鋭

起業支援プログラム



1 目的：在学中に本気で起業を目指す

日本大学生産工学部から学生起業家を輩出することを目指します。
起業したい学生を本気で支援するプログラムです。

2 特徴：一貫したサポートを提供

- ①基礎的指導から事業プランや資金調達^(注1)まで一貫したサポートを提供します。
- ②経営コンサルタント1人^(注2)に対して学生は3組^(注3)まで。マンツーマンに近い形式。
- ③学内の教授陣から専門分野のサポートが受けられます。
- ④学内のプロジェクトルームに専用デスクを用意します。
- ⑤学内で資金調達コンペティションを実施します。
- ⑥起業することが目的ですので、単位の認定は伴いません。

(注1) 借入金等の返済が必要な資金の受け入れは行わないものとします。

(注2) 全体を統括するインキュベーションマネージャと技術的側面から支援するテクニカルアドバイザーです。経営コンサルタントは、創業支援の経験が豊富な外部の経営コンサルタントです。

(注3) 1組3人までとします。

3 実施スケジュール：個別伴奏型支援で手厚く

1年目の前半は事業コンセプトを固めるために手厚く指導していく方式をとり、後半は参加学生の状況に合わせて個別伴奏型支援の形式で進めます。2年目以降の学生も継続的に相談支援が受けられるようにして、起業まで継続してサポートする体制を用意しています。

実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年目	募集	選抜	ガイダンス										
			起業基礎演習						起業実践演習				
			起業課題相談支援① <集合型対面相談(ゼミ)>						起業課題相談支援② <集合型対面相談(ゼミ)>				
			起業家訪問			集中検討合宿			個別相談支援 <オンライン相談>		起業家訪問		
								中間報告				最終成果報告 資金調達コンペティション	
2年目以降				起業進捗相談支援 <集合型対面相談(ゼミ)>								進捗発表	
			起業家訪問		個別相談 <オンライン相談>					起業家訪問			

4 カリキュラム：9種類のカリキュラムを用意

起業支援プログラムでは、在学中の起業に向けて一貫したサポートを提供するために1年目に9種類のカリキュラムを用意しています。また、2年目以降も継続して個別相談にて指導を受けることができます。

カリキュラム一覧

	カリキュラム	内容
1 年 目	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> 顔合わせ 1年間の実施スケジュールや推進方法について説明します
	起業基礎演習	<ul style="list-style-type: none"> 「事業コンセプト」に必要な知識の習得を目指します 学生に演習課題を課して学習した内容を発表します
	起業実践演習	<ul style="list-style-type: none"> 「事業計画書」と「収支計画・資金調達」に必要な知識の習得を目指します。 起業テーマや検討状況に応じて、専門家を招聘します 学生に演習課題を課して学習した内容を発表します
	起業課題 相談支援①② <集合型対面相談> (ゼミ)	<ul style="list-style-type: none"> 個々の進捗を確認し課題を洗い出し、指導します 個々の事情に合わせた宿題を課します 前期①は、事業コンセプト作りとプロトタイプ製作に主眼を置きます 後期②は、検証と事業計画書に主眼を置きます
	起業家訪問 (2年目も参加可)	<ul style="list-style-type: none"> 先輩起業家を訪問して、起業の意欲を高めます 起業後の活動をイメージできるようにします
	集中検討合宿	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画書とプロトタイプ製作の完成を目指します 夏季休暇近辺で2日程度の集中検討合宿を実施します 集中的に検討できる環境を作り、仲間意識を醸成します
	個別相談支援 <オンライン相談>	<ul style="list-style-type: none"> マンツーマンで個別に具体的な相談をします
	中間報告	<ul style="list-style-type: none"> 前期の成果（事業コンセプトなど）について発表します 後期に向けて、協力して欲しいことなどを公表します
	最終成果報告 兼 学内資金調達 コンペティション	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の成果を発表します 発表は審査され、評価に応じて起業・事業化資金を提供します 外部の審査員も招聘し、第三者の目線も加えて評価します
2 年 目 以 降	起業課題 相談支援 <集合型対面相談>	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き相談支援にて指導を受けることができます オンラインにて指導を受けることもできます
	成果発表	<ul style="list-style-type: none"> OB/OGが参画して、起業後の状況を最終成果発表会のエキシビションとして報告します



集中検討合宿



起業実践演習



学内資金調達コンペティション

5 エントリーについて

① プログラム参加希望者の心得

起業の主体は学生であり、コンサルタントは相談相手であることを理解していること。
自主的・主体的に取り組むこと。また、起業を目指す他の参加学生とは、起業仲間として互いに切磋琢磨し、「起業」という挑戦を楽しむこと。

② 選抜試験を実施します。

簡易創業計画書の内容と起業意欲により書類と面談にて審査・選抜します。

(詳細は別途公開します)

③ エントリー可能な学年は、学部生、修士1年生とします。

学部1年生は「入学時の熱い思いを実現するための起業支援」を目的とします。

学部2年生は「1年生の時に落選した方の再チャレンジ」^(注1)を目的とします。

学部3年生は「4BE 修了生の起業支援」を目的とします。

学部4年生は「就職ではなく起業を本気で考える方」^(注2)を目的とします。

修士1年生は「専門知識が豊富な大学院生の起業支援」を目的とします。

④ エントリーに際して簡易創業計画書の提出を求めます。(詳細は別途公開します)

(注1) 4BE 受講経験者は対象外とします。(注2) 大学院への内部進学希望者を対象にします。就職希望者は対象外です。

6 Q & A

① Q: 経営学の勉強をしたことがありませんが申込みできますか。

A: 申込の条件として、経営学の知識の有無は問いません。ただし、起業したい強い想いとそのために経営に関する知識を身につけたい強い意欲があることが求められます。

② Q: 4BEとの併願は可能ですか。

A: 4BEとの併願は可能です。4BEの申し込み締切り前に合否結果が出ます。

③ Q: 学費以外の費用はかかりますか。

A: 学費の追加はありません。ただし、活動中に実費で費用が発生することはあります。

④ Q: 単位認定はありますか。

A: 単位認定はありません。起業に向けて事業プランを楽しみながら集中して考え、実際に起業するコースです。

⑤ Q: 起業プランの事例はどのようなものがありますか。

A: 研究分野の知識・経験をもとにした新製品・新サービスの開発、自身の特技や強みを活かした新製品・新サービスの開発、AI等を活用した新サービス、アプリ開発、システム開発などがあります。

日本大学 生産工学部

〒275-8575 千葉県習志野市泉町1-2-1 津田沼キャンパス

TEL: 047-474-2271 (就職指導課)



学部HP



起業支援プログラムHP